

[06_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468012>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 6 (1), 1973-02-20. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

前に述べました3つのエラーは、計算していくうちに、それぞれのエラーとなるような大きな値や0になってしまったために起こることもありますが、値を定義していなかったためにエラーをひきおこした場合は少なくありません。

また、計算結果が自分が期待していたものと違うことがあります。これも、エラーメッセージは出ていなくても、値の未定義な変数があったり、実引数と仮引数の型の対応に誤りがあったりするのが主な原因です。

値の未定義な変数の使用は、最も重大な誤りのひとつですが、一番見つけにくいエラーでもあります。これには次の2つが考えられます。

1. 値を代入したつもりだったが、実は忘れていた。
2. パンチミスのために自分が知らない名前が使われていた。

まず、1の場合ですが、これは自分が忘れているのですからどうしようもありません。じっくり落ち着いてもう一度プログラムを見なおしていくか、他の人に一緒に見てもらうのもよいでしょう。

2の場合、FORTRAN コンパイル時のマップを見ることによって見つけることができます。FORTRAN コンパイル時のマップを見ると *NAMES*の項があります。ここに、そのプログラム単位内で使われている全ての変数に関して、変数名、型、番地割付け位置また配列の場合はその大きさなどの情報が出力されますのでその名前を見ていき自分が全然覚えのない変数名があったら、おかしいな………ということになるでしょう。

(FORTRAN マップの見方は「利用の手引・基本編」を参考にしてください)

プログラム相談員募集

現在当センターでは、利用者相互のプログラム技術のレベルアップや計算機の効率よい利用方法の研究などを目的として、利用者の方々のご協力のもとに、毎日午前と午後それぞれ2時間ずつプログラム相談を行なっています。

つきましては、下記のように昭和48年4月からのプログラム相談員を募集いたします。

プログラム相談員は高度な技術を持っていてそれを教えるのではなく、質問者と共に考え、調べ、テストをする人なのです。従って、まだはじめてばかりでこれからプログラミングの手法を覚えようと思われている方でも、経験者とペアになって相談にあたることによりいろいろ勉強できると思いますので、プログラミング知識の深浅を問わずたくさんの方の参加をお願いいたします。

期：昭和48年4月から昭和49年3月まで1年間（変更も可）

募集人員：最低17名

担当時間：週2時間

特 典：1. マニュアル、資料の配布 3. 相談員研修会への参加
2. 指導用計算時間（年間 120分） 4. 相談員研究連絡会への参加

申し込み先：共同利用掛（TEL 九大内線 2256）